

平成 22 年 9 月 29 日

長岡市教育委員会（定例会）会議録

長岡市教育委員会



1 日 時 平成 22 年 9 月 29 日 (水曜日)

午後 2 時 30 分から午後 4 時 20 分まで

2 場 所 宮内中学校 会議室

3 出席委員

委員長 大橋 岑生 委 員 内藤 博子 委 員 羽賀 友信

委 員 中村 美和 教育長 加藤 孝博

4 職務のため出席した者

教育部長 野口 正巳 教育総務課長 若月 和浩

学務課長 武樋 正隆 学校教育課長 小野田 信子

子ども家庭課長補佐 佐藤 正高 保育課長 佐野 勉

中央公民館長補佐 東樹 隆志 中央図書館長 小倉 進

科学博物館 山屋 茂人 教育センター所長 山岸 文夫

教育総務課特命主幹 安部 和則 学校教育課主幹兼管理指導主事 島倉 昭弘

学校教育課主幹兼管理指導主事 関谷 祐二 学校教育課主幹兼管理指導主事 山田 修

5 事務のため出席した者

教育総務課長補佐 長谷川 雅泰 教育総務課庶務係長 新沢 達史

教育総務課庶務係 小川 瑞穂

## 6 議事日程

日程	議案番号	案 件
1		会議録署名委員について
2	第 68 号	長岡市教職員住宅管理運営規則の一部改正について
3	第 69 号	長岡市青少年育成センター設置条例施行規則の一部改正について
4	第 70 号	専決処理について(長岡市教育委員会表彰規則の一部改正について)

## 7 会議の経過

(大橋委員長) これより教育委員会 9 月定例会を開会する。

---

### 日程第 1 会議録署名委員について

(大橋委員長) 日程第 1 会議録署名委員の指名を行う。会議録署名委員については、会議規則第 44 条第 2 項の規定により、羽賀委員及び中村委員を指名する。

---

### 日程第 2 議案第 68 号 長岡市教職員住宅管理運営規則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第 2 議案第 68 号 長岡市教職員住宅管理運営規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(武樋学務課長) 議案第 68 号 長岡市教職員住宅管理運営規則の一部改正についてである。改正の理由であるが、今現在、小国地域に教職員住宅が 2 棟ある。小国横沢教職員住宅と小国新町教職員住宅であるが、このたび、そのうちの小国横沢教職員住宅を用途廃止し、市営住宅に所管換えを行う。これにともない、今現在、教職員住宅管理運営規則で定めている小国横沢教職員住宅を削除するものである。なお、春には横沢教職員住宅に居住者がいたが、現在は新町教職員住宅に引越しをしていただいております、今後は小国新町教職員住宅 1 棟で対応して行く予定である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

---

日程第3 議案第69号 長岡市青少年育成センター設置条例施行規則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第3 議案第69号 長岡市青少年育成センター設置条例施行規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長補佐) 街頭で育成活動を行っていただいている青少年育成員の任期に関する規則の改正である。改正の理由として、青少年育成員は大きく分けて3つの区分で委嘱をしている。児童委員、学校教職員、知識経験を有する者の3つであるが、それぞれ任命の時期が現在、学校教職員が5月、それ以外の児童委員と知識経験を有する者は10月となっている。これを研修会や委嘱事務の効率化を図るためにすべて5月に統一したいというものである。それにあたり、現在の規則では児童委員の任期が2年と限定されているため、この点を改正する。「期間を超えない範囲で委員会が定める期間」とする。具体的には、10月に児童委員、知識経験を有する者は、今までの規則では平成22年10月1日から平成24年9月30日までの任期とするところであるが、今回改正を行うことで、平成22年10月1日から平成24年4月30日までと委嘱する予定になる。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 研修や委嘱事務の効率化を図るために5月に統一との説明であったが、委嘱の月は規則で規定されていないのか。

(佐藤子ども家庭課長補佐) 施行規則には規定されていない。

(若月教育総務課長) 現在、青少年育成員の委嘱にあたり、事務上5月からの任期のものと、10月からの任期のものと2種類混在している。このままでは、年2回委嘱の事務を行うこととなるため、どこかで委嘱のタイミングを統一したいという考えがあり、そのために今回改正を行い、次回から学校教職員、児童委員、その他

すべて5月に委嘱するための改正である。

(大橋委員長) 他に質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり決定することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり決定した。

---

日程第4 議案第70号 専決処理について 長岡市教育委員会表彰規則の一部改正について

(大橋委員長) 日程第4 議案第70号 専決処理について 長岡市教育委員会表彰規則の一部改正について を議題とする。事務局の説明を求める。

(若月教育総務課長) 議案第70号 長岡市教育委員会表彰規則の一部改正であるが、今まで教育委員会表彰について、被表彰者が欠格条項に該当しないかどうかを事務的に市長に照会をし、回答をもらっていた。ところが、個人情報保護等の関係もあり、条例、規則、法律等で明文化していないと発行できないこととなった。私どもとしても欠格条項に該当するかどうかは非常に重要であるため、規則の中に明文化するために第3条に加えた。これについて、長岡市表彰規則も今年度改正され、新潟県教育委員会表彰規則も9月から改正されている。いずれも同じような形で明文化するための改正をしており、長岡市教育委員会も表彰規則に加えた。現在、8月から内申をいただいております。明日、内部で選考会を開催するために、教育委員会に諮る時間がなかったので専決処理を行い、事務を進めさせていただきます。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。では、これより採決に移る。本件は原案のとおり承認することに異議ないか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 異議なしと認める。よって本件は原案のとおり承認した。

---

(大橋委員長) 本日の日程は終了する。次に協議報告に入る。まず、9月議会における教育委員会関係の質問事項について、事務局から説明を求める。

(野口教育部長) 9月議会は9月9日から24日まで開催された。文教福祉委員会は9月15日に開催された。まず、一般質問の教育委員会関係の質問であるが、古川原議員から長岡市地域資料館の現状について、4項目の観点からの質問があった。これは、このあとに現在寺泊地区で展示している順動丸のシャフトの展示をできるだけ長く展示してほしい願いがあり、前ぶりの質問であった。続いて長谷川一作議員は守門岳から日本海、自然環境を生かした地域振興策についてということで、その中でまず総合福祉センター建設事業について質問があった。新市の建設計画の中に福祉関係であるが、総合福祉センター建設事業ある。そのことをまず質問され、その中に栃尾版「子育ての駅」を併設整備する考えはないかという質問であった。続いて、中村耕一議員からは学校現場の諸課題について2点質問があった。1点目は中学校の部活動について2つの視点からの質問、2点目に小学校の教科担任制度についてであった。続いて、諸橋虎雄議員からは合併地域の子育ての駅整備について、さきほどの長谷川議員と同じような内容であるが、こちらは空いている施設を利用して子育ての駅の整備をしたらどうかとの質問であった。続いて、藤井達徳議員からは大きく2点質問があった。まず、児童虐待の対応について4つの観点からの質問があった。次に学校及び住宅の耐震化の取り組みについてということで、教育委員会関係として学校に関する部分であるが、2つの観点からの質問があった。最後に笠井則雄議員からは、就学援助制度について2つの視点からの質問があった。次に文教福祉委員会での質問項目である。まず、川口地域の佐藤委員の質問であるが、スクールバスの現状と今後の見通しについてということで部活動におけるスクールバスの活用を従来どおりしてほしいとの質問である。続いて、永井委員からは、小中学校の発表の場としての支所庁舎の活用について、3つの観点から質問があった。続いて細井委員は、養護学校の新たな教育課程についてであるが、先般市長が記者会見で発表をしたが、その再確認という意味合いでの質問であった。続いて

大平委員は、平和教育を「長岡の教育」に明記する意義について2つの観点の質問である。次に「いじめによる自殺未遂」報道についての経過説明についての質問である。3番目が事業所への託児所設置に県が動き出すことについてということで、県は商工労働部が事業所内に保育所を設置する場合にモデル的に財政的支援をする事業を行うが、長岡市はどのように対応するかとの質問である。したがって、県の事業は商工労働部内の事業所内の保育所ということで、私ども所管としてはソフト的な事業対応をしていきたいと回答した。次にワクチン公費助成への要望の高まりについて、ヒブワクチンと小児用肺炎球菌ワクチンについて、小児科医から県に公費を求める要望がでており、長岡市にも同じように出ているが、これに対する対応についての質問であった。続いて長谷川一夫委員からは、各地域の郷土資料館並びに重要文化財「旧長谷川邸」について、3つの質問があった。特に「旧長谷川邸」について、維持管理についてしっかりやってほしいという内容である。続いて小坂井委員は、新潟県が策定した教員の多忙化解消プランについて質問があった。最後に小熊委員からは保育園・学校のフッ素洗口についてということで、フッ素洗口の有効性を調査され、その観点から進めたらどうかという質問であった。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 大平委員の「熱中！感動！夢づくり教育のメニューに戦災資料館での学習、長岡空襲史跡めぐりなどの事業を積極的に加えたらどうか」について、どのような回答であったのか。

(野口教育部長) 背景は、委員会の数日前に戦災資料館で、被災体験を聞く会が開催され、そこに大平委員が出席されたが、その場に先生や子どもの出席が少ないということがあった。そういうことがあって、このような質問をされたが、熱中！感動！夢づくり教育のメニューに加えるかどうかは、事業をしているところがどのようにとらえているかによると思われる。また「教育の中に位置づける」については、「長岡市の教育」にどのように記載するかがあるが、これは「長岡市の教育」をどのように編集するかに関わってくることであり、ここの部分だけを取り上げて記載する構成になっていないので、そこを見直すかどうか来年度以降の課題と思っている。事業自体について、戦災資料館等についてそれぞれ学校は活用している。

(大橋委員長) 小坂井委員の教員の多忙化解消プランについて、前にもあったと思

うが、何かしら動きがあったのか。

(野口教育部長) 県教委が、具体的に教員の多忙化解消プランを策定し、学校現場がやること、教育行政がやること、個人がやること、それぞれ今何ができるかをまとめて、取り組み始めたところである。小坂井委員の質問の趣旨は、たぶん教員組合からの観点からの質問であった。

(大橋委員長) 長岡市も取り組んでいるということでよいか。

(野口教育部長) 取り組んでいる。私たち長岡市教育委員会としては、いまさらという認識である。従来から取り組んでいる。

(加藤教育長) 多忙化について、昨日組合交渉があり、多忙化について毎回話が出てくるが、教育委員会も遅くまでやっていることを把握してほしいと言われたので、把握するとした。勤務時間以後、どの程度残っているのか、報告をしてもらうこととした。必要があれば学校に行き指導する。必要があれば教育委員会に来てもらい産業医の面接を受けさせる等の指導を行うと約束をした。学校の実態を調べてみると最後に帰った人が誰で何時に帰った、朝は誰が一番に来て鍵をあげたということしか把握していなかったため、一人ひとりがどれくらい残っているか、きちんと記録をつけてもらい、教育委員会も把握する。

(中村委員) 中村議員の小学校の教科担任制度について教科担任制の活用を進めてはどうかとあるが、確か音楽や美術などの専門分野については、専門分野の先生が指導しているという記憶であるが、それとはまた別の話なのか。

(野口教育部長) 現実には中村委員のおっしゃるとおりである。質問についてすりあわせをする中で中村議員もやっていることを承知されていた。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に教育委員会関係工事等の入札状況について、事務局の説明を求めらる。

(安部教育総務課特命主幹) 2件について報告する。いずれの案件も工事の契約金額、土地の取得等については、自治法に定める議会の議決が必要となるもので、9月議会に提出し議決をいただいたものである。

最初に養護学校校舎増築工事であるが、養護学校は平成24年4月から高等部をそれぞれの生徒の適性に合わせた5コースにわけ、卒業後の就労につながる作業学習の充実などより実践的な教育課程を行うこととしている。また、教育、福祉、就

労などの専門機関との密接な連携を図り、様々な相談に対応する県内初の総合支援室を新たに設置することとしている。この新しい教育課程に対応した作業室の整備、総合支援室の設置に加えて、高等部の入学希望者の増加に対応するために、現在のグラウンド敷地内に鉄筋コンクリート造の2階建て2,507.59㎡の校舎を増築するものである。工事の内容、施工者、工期、契約金額については記載のとおりである。具体的な建物配置についても、資料を確認していただきたい。

続いて、日越小学校グラウンド整備事業用地については、日越小学校は現在一部校舎建替えを現在のグラウンド敷地内で行っており、もともと狭小であったグラウンドがさらに狭くなることから、隣接する西側に新たなグラウンド用地を取得し整備するもので、面積は13,870.37㎡である。整備のスケジュールについては、今年度中に農地専用許可申請、開発許可申請等の必要な諸手続き、並びにグラウンドの全体の造成設計を完了させ、来年度早々から造成工事を行う予定である。取得する土地の地名地番、種目、取得金額については、記載のとおりである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 特に養護学校の増改築について、議決をいただきほっとしている。いよいよ着工になるわけである。事務局に確認だが、共同施工と思うが、入札施工者はどこか。

(安部教育総務課特命主幹) 共栄建設が栃尾地域、永井建設が越路地域、吉原組が長岡と広く合併後の地域からうまく工事に関わってもらえることとなった。

(加藤教育長) 公共事業が減って、大手ばかり入ってくるという状況の中で、宮内中学校も含めてであるが、地元企業が施工になるということについて非常にほっとしているところである。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に開かれた学校づくり推進事業 第9回「いきいき教育推進懇談会」実施計画概要について、事務局の説明を求める。

(小野田学校教育課長) 例年行っている「いきいき教育推進懇談会」について、今年の概要が決まったので報告する。期日が平成22年11月20日土曜日、午後1時半から、リリックホールのシアターで行う。テーマは「長岡の夢づくり教育」と考えている。内容は学校2校の事例発表を行う。1校は西谷小学校が、夢企画事業を行っているが、それを発表してもらおう。西谷小学校は、来年創立40周年を迎える

が、40周年に向けての夢企画で、森亀小学校、半蔵金小学校と順次統合してきた学校であり、3校の歴史を調べる。それから地域の力に学ぶとして、平成14年から100人を目指して地域の方から話を聞いているとのことで、それらを発表してもらおう。もう1校は小国中学校で、総合学習で地域貢献活動をしており、その活動を発表してもらおう。次に、講演は長岡在住の小林茂さん、ドキュメンタリー映画の映画監督であるが、小林さんのお話と映画「放課後」を上映する。監督については、「阿賀に生きる」のカメラマンとして活躍され、その後監督として、地域の人々や、障害児の子どもたちや学童クラブのドキュメンタリーを撮っている。今回の「放課後」も障害児と健常児が一緒に学童クラブの様子を撮影したもので、これを見ながら、ともに育つということに参加者と一緒に考えていくという講演を考えている。参加者は400名を予定している。これから広くPRしていきたいと思う。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 小林茂さんは長岡の方が。

(小野田学校教育課長) そうである。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に全国学力・学習状況調査の活用について、事務局の説明を求める。

(小野田学校教育課長) 全国学力・学習状況調査について、ご報告が遅くなって申し訳なかった。7月末に新聞報道等において、全国の集計が掲載されていた。平成19年度からは悉皆調査で行われており、市町村別の結果等も出ていた。平成22年度からは、抽出調査となり、長岡市は、抽出校は抽出校として参加し、またその他の学校は、希望する学校は学校の判断で参加するとして参加した。抽出調査の結果について、文部科学省は市町村別、学校別の結果は集計を行わないとした。ただし抽出校、希望校ともに参加した学校のデータは文部科学省から長岡市に届いている。長岡市としての参加状況は、抽出校が小学校14校、中学校14校、希望利用校が小学校22校、中学校7校であった。データについて、教育委員会に届いているが、教育委員会として、抽出校、希望校ともに、長岡市として集計しない考えである。それぞれの学校が、自分の学校のデータを学習改善に生かすとして、長岡市全体の判断には利用しない。抽出調査であるため、統計的に意味がないことと、希望利用であり、集計することは目的としておらず、各学校で活用するために利用希望して

いるため、長岡市として集計しないこととした。それぞれの学校では本調査以外にも、NRT・CRTの調査等で把握できていると考えられる。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。次に平成22年度就学時等家庭教育講座の実施について、事務局の説明を求める。

(佐藤子ども家庭課長補佐) 就学時等家庭教育講座であるが、目的として就学時健康診断や新入生入学説明会等のすべての親が集まる機会を利用して、家庭教育講座を実施するというものである。すべての親に聞いていただきたいため、学校の行事等を活用させていただいている。これは、平成19年度から始まり、今年で4年目である。講座については大体40分から50分の講座で、内容については保護者向けテキストに記載されているもの、子育てのこと、愛情のこと、基本的な生活習慣がすべての土台などを中心にまとめている。講師用テキストも作成しているが、その中で、講師が強調したい部分や実体験を踏まえての話などを加えて開催している。実施する学校の数については60校中、53校である。ほとんどの学校、52校が就学時健診の際に実施し、1校が年明けの新入生入学説明会の時に実施する。講師はテキスト並びに平成19年にワーキングをつくって検討した際にもご尽力いただいた新潟県立大学の大桃教授のほか、教育委員会の管理指導主事や指導主事といった面々で地元長岡市教育委員会所属の先生を中心に講師を担っていただいている。参考までに昨年度は51校であったため、2校増えている状況である。10月1日から始まり、11月1日までの間及びその後2月に1回というスケジュールである。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(内藤委員) 昨年度もそうであるが、希望していない学校について、どういう理由か。

(佐藤子ども家庭課長補佐) 例えば校長先生、ほかの講師で独自に講座をしているところがほとんどのようである。この家庭教育講座が趣旨と異なるため、実施しないわけではなく、何らかの形で実施している。

(内藤委員) テキストについて、学校で実施しなくても配布されるのか。

(佐藤子ども家庭課長補佐) 参考配布する。

(大橋委員長) 実施しない学校について、毎年実施していないのか。

(佐藤子ども家庭課長補佐) 今年で4年目であるが、実際初年度は21校で半分にはいかなかったが、平成20年が50校、平成21年が51校、今年が53校で、だいたい7校がこのタイミングでは実施していない。毎回、決まったところがしていないわけではない。昨年実施したところが、今年は実施できないということもある。

(内藤委員) 3名でも2名でも行うのか。

(佐藤子ども家庭課長補佐) 対象保護者の数ではなく、実施してぜひ聞いてほしい。

(内藤委員) 近くの学校に寄ってもらうのではなく、こちらから出向いていくのか。

(佐藤子ども家庭課長補佐) 就学時健診等であれば、忙しい保護者も出席している。そこへ出向けば、必ず聞いてもらえる。保護者から動いてもらうのではなく、指導主事等で手分けして出張するというスタンスである。

(大橋委員長) 他にないようなので、次に今森光彦写真展「昆虫4億年の旅」について、事務局の説明を求める。

(小倉中央図書館長) 今森光彦写真展「昆虫4億年の旅」について、10月16日土曜日から11月7日日曜日まで、中央図書館2階の美術センターで開催する。入場は無料である。時間は午前10時から午後6時である。この今森光彦さんは、世界の熱帯雨林や砂漠から国内の身近な自然環境まで、自然と人の密接な関わりを、美しい映像と親しみやすい文章で伝え続けている。当館では、今最も注目を集める自然写真家・今森光彦の写真展「昆虫4億年の旅」を開催し、彼の代表作である写真集「世界昆虫記」・「昆虫記」から新作まで、昆虫の生態を中心に写真約200点を展示し、第28回土門拳賞を受賞した、これまでの活動の集大成といえる作品群を紹介する。10月16日には、オープニングセレモニーを10時から開催し、委員長からごあいさつをいただく予定になっている。終了後にご本人によるギャラリートークを行う予定で、また午後2時から午後4時まで、講演会「昆虫たちの不思議な世界」、サイン会を行う予定である。これに関連して、11月2日火曜日から11月7日日曜日まで、科学博物館で開催している生物標本展、これは10月25日から10月31日までであるが、その作品の中から優秀な昆虫作品を中央図書館で特別に展示する予定にしている。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 市民にはどのように周知されるのか。

(小倉中央図書館長) ポスターの掲示と市政だよりに掲載している。また、科学博物館を通して昆虫が好きな小・中・高校生のグループに声かけをし、セレモニーにも参加を呼びかけている。

(大橋委員長) その他質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) 質疑、意見なしと認める。他に協議報告はないか。

(小倉中央図書館長) 先月8月定例会で栃尾美術館をご覧いただき、いろいろな提案をいただいた。現在「美術館に行こう！ディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方」を開催しているが、提言を受け、いろいろと取り組んだところ、入館者が伸びている。「美術館に行こう！」の会期は9月18日から11月28日まで開催している。開催してから8日間で来館者が1,193人となっている。参考として前回の大山治郎コレクションについて、8日間で273人であった。学校・保育園等にも呼びかけをしており、開催初日に、栃尾地域の双葉保育園から46人の参加があった。その後、燕中等教育学校の有志生徒10人が来館。来月10月6日には中之島保育園32人が来館したいとの声が届いている。グッズ販売について、やったほうがよいとの提言を受け、若干難航したが、栃尾観光物産会と長岡図書館友の会に協力を要請し、その結果栃尾観光物産会と企画会社キュレーターズが覚書を交わし、長岡図書館友の会の協力を得て、販売を実施するにいたっている。現在までの販売状況であるが、1,000円ぐらいの手ごろな商品、メモ帳、ボールペン、フォーク、スプーン、ストラップなどが順調に売れている。8日間の売り上げが378,000円あったと聞いている。早くも売り切れ、入荷待ちの商品もあり、追加発注の商品もあるとのことである。ワークショップコーナー・子どもたちの作品展示コーナーを設置しており、1階の市民ギャラリーに、ワークショップ用の材料を置き、親子が自由に作品を作成して持ち帰ることができるコーナーを設置している。また、アトリエにつながる通路に、開催前に実施したワークショップでの子どものモバイル作品を展示している。また、ハイビジョンシアタールームを活用するということで、会期中、DVDによる放映と絵本コーナーをルーム内に設置している。かなり幼児が夢中になってみていると好評である。展示状況については、別紙写真のとおりであ

る。次に、今後の美術館運営の取り組み課題については、まず喫茶室・物販コーナーの設置について、8月28日土曜日、29日日曜日に期間限定ではあるが、実施をした。管内のアトリエに一般市民2名が教育財産の目的外使用料を支払って営業している。メニューは飲み物のみであるが、2日間で93人の利用があった。昨年も同様のことを行っているが、2日間で21人であったため、今回PRの効果もあり、利用客が増えている。さらに、ミッフィー展の間10月23日、24日も喫茶室を実施する予定である。また、大山治郎コレクション展の会期中から物販と喫茶室についてのアンケートを来館者に実施中である。さらに、市外の美術館等にアンケートを依頼し、どのような形態で物販や喫茶室を運営しているかを調査中である。また、1階と2階にノートを置き、来館者に自由に意見を求めている。今後、これまでの実施結果やアンケート結果を参考にしながら、栃尾美術館に適した喫茶室と物販について、前向きに検討していきたい。PR活動としては、小・中学校へ呼びかけを行っている。8月31日の校長会においては、冬場にある「ながおかの子ども作品展」への出品依頼と「大山治郎コレクション展」「美術館に行こう！」のPRを実施している。さらに近隣の小・中学校から市内全域にまでPR活動を広げていきたいと考えている。また、一般市民への呼びかけとして、展覧会の開催の都度、ポスター・チラシを関係機関等に配布し、報道機関への広報、報道依頼と併せてPR活動を強化してきている。その他の取り組みとして、先般交通の便が非常に悪く、バスを利用できないかとの意見があったが、これらを含めて現在検討中である。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(大橋委員長) 大変な取り組みである。

(加藤教育長) やればできるということである。市外の美術館へのアンケートといわず、ぜひ肌で感じてきてほしい。

(羽賀委員) 今回、私のところへも何人か問い合わせがあった。内容がいいと遠い近いは関係ない。

(大橋委員長) 他に協議報告はないか。

(佐藤子ども家庭課長補佐) ポニーカーニバルについてご案内する。第11回ながおかポニーカーニバルを10月3日日曜日に実施する。会場はニュータウン公園で、昨年と同じ会場である。内容はポニーがメインであり、ポニーのコーナー、遊びの

コーナー、軽食のコーナーとある。家族みんなで楽しめる内容となっている。次に「家庭でワクワクお手伝い通信」の第 22 号が完成したので、配布をさせていただいた。今回は、夏休みの手伝いについて、小学校 6 年生と中学校 3 年生の体験を寄せていただき紹介している。参考にご覧いただきたい。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

[「なし」と呼ぶ者あり]

(大橋委員長) なしと認める。他に協議報告はないか。

(若月教育総務課長) 10 月 1 日から長岡市教育委員会職員が、受動喫煙防止の観点から、禁煙に取り組むこととした。今まで、小・中・養護学校、保育園、幼稚園、長岡市立のところについては、すべて敷地内禁煙としており、子ども家庭課のある健康センターも同様で、教育センター、中央図書館については、建物内禁煙としていた。それ以外の建物については、幸町分室も含めて分煙ということであった。我々職員も子どもたちの健やかな成長を担当している職員でもあるため、市長部局にさきがけ、10 月 1 日から勤務時間内禁煙に取り組むこととしたため報告する。

(大橋委員長) 質疑、意見はないか。

(加藤教育長) 異議なし。大変よいことである。

(大橋委員長) 他に協議報告はないか。これをもって協議報告事項を終了する。

---

(大橋委員長) 本日は、定例会の前に教育センターと宮内中学校を訪問した。委員の皆さんの意見、感想はいかがか。

(中村委員) 教育センターでは科学研究発表会を初めて見た。発表の研究テーマから過程から実験からよくできていた。先生の指導もあるだろうが、すばらしい発表であった。その審査員の先生が 3 人いたが、子どもたちへの声かけもすばらしかった。最初発表している子どもたちは緊張しているが、先生の意見、アドバイスを聞くと、表情が明るくなり、来年もがんばろうという意欲につながっているというように感じた。いい経験だった。その後の懇談会、指導主事と先生方の連携、研修会の話の聞かせてもらった。連携をとっていることがよく見えた。宮内中学校は、かなり古くなっていることを実感した。再来年新校舎への引越しがあるとのことで、しばらく不自由があるかもしれない。子どもたちの授業を拝見したが、落ち着いて

いる印象であった。先生方について、若い人が多いが、皆さんしっかりしていて、ポリシーを持ってやっている印象を受けた。

(内藤委員) 教育センターでの研究発表は私も初めて拝見した。子どもたちがしっかり提言、発表としていると感じた。生活に密着した研究がとても面白く、非常に子どもたちの探究心、研究心が伝わってきたし、先生方の指導がいいことも伝わってきた。職員の方との懇談会について、長岡市は全国にさきがけ、錬成塾を実施しており、全国から注目されていたとおり、職員がしっかりやっている感があった。時間を問わず対応しているところがすごいと感じた。長岡市は幼稚園、保育園も全部教育委員会で担っているが、そういった職員にもきちんに対応しており、6時30分からでも対応しており、先生、職員、保護者との連携がとれていることを感じた。関係機関との連携も確認したが、密に連携をとっているとのことで安心した。宮内中学校は、非常に落ち着いた授業風景であった。少しうつむいている子どももいたが、静かな授業であった。先生が楽しんで授業をしていることが伝わってきた。これが長岡らしい授業風景であつたらいいなと感じた。不登校の方もいるとのことで、保護者の対応が気になった。教育センターで女子トイレを利用したが、ぜひ音姫をつけてほしいと感じた。

(羽賀委員) 子どもたちが発表している姿を見ると、今、言語化することが不得意な子どもが増えているというが、研究そのものについても先生が前面に出ず、指導をきちんとしていることと、コメントする先生のレベルがよかった。あれで子どもが発表することに自信を持って、次につなげる姿が、非常に感動的であった。職員との懇談会で2つの視点がすばらしいと思った。指定研修ばかりかと思っていたが、要請研修が主であると聞いて、教員を教員の立場から受け止めている、教育センターのあるべき姿であるとわかりやすかった。理論から実践へ、体験を通してわかりやすい講義をしていることがすばらしい。宮内中学校は、若い先生が非常に元気よく仕事をしているのは、上の先生がいい指導をしているからだと思う。また、私のところと関連して国際的なバックグラウンドがあり、非常に苦労していると聞いている。今後とも国際交流センターと連携していい関係を作っていきたい。子どもたちがいきいきしている姿、校長によるところがすごく大きいと思う。学校は先生だけでなく、子どもだけでなく、連携をとって互いに生きがいであるべきで、とて

もいい雰囲気が出ていると感じた。

(大橋委員長) 私は少し違った視点から意見を述べたいと思う。まず、教育センターについて、今の理科教育が前提にあっての科学発表であると思うが、長岡市も科学発表については真剣に取り組んでいると思っている一人であるが、徐々に発表を聞いて、年々学校の体制、指導者だけでなく、生徒自身もそうだが、発表者が少ない。これはいかなものか。これから科学技術、理科教育の振興もあるが、今後どのようなになるのか。願わくばもう少し人数があるとよいと感じた。明日は、小学校とのことで、もう少し人数があるかも知れない。されど一生懸命取り組んでいると感じる発表であった。教育センターの指導主事との懇談会について、身内、教育委員会と同じという感じがあった。指導主事と話をするいい体験で、非常にうれしかった。積極的に、熱心に外に出ている、関わっているということで、専門性、理論と実践を踏まえた指導に徹しているという意気込みを感じることができた。これからも続けてほしい。宮内中学校は、先生方の多さにびっくりした。先生方の雰囲気が、非常にいいという印象を受けた。活気があって明るくて非常によい。それが生徒の学習態度に響いていると感じた。学年部体制なのか、管理職のレベルがいいのか、その連携でみんなが仲良くやっている雰囲気を感じた。加えて、2年後の新校舎に向けて、子どもたちの夢があるのか、大変気持ちがいい学校であった。

(大橋委員長) これをもって本日の定例会を終了する。

---



会議の次第を記載し、その相違ないことを証するために署名する。

長岡市教育委員会委員長

長岡市教育委員会委員

長岡市教育委員会委員